

山科区賀詞交換会を開催しました



1月9日、日頃山科のまちづくりに貢献いただいている自治連合会や各種団体など地域のリーダーの皆様と市会議員、府議会議員の皆様、行政機関等105名が一堂に会し、賀詞交換会が開催されました。

冒頭、主催者である山科区自治連合会連絡協議会会長会を代表して住友正歳会長から挨拶があり、その後来賓として出席された門川大作京都市長から祝辞が述べられました。

鏡開きの賑やかな掛け声が会場を盛り上げ、新年を祝う華やかな雰囲気の中、参加者は山科区の更なる発展に向けて今年も努力することを誓いました。

問合せ 区まちづくり推進担当 (☎592-3088)

『西勧修寺消防出張所』の運用開始について

この度、勧修寺消防出張所は、庁舎の老朽化に伴う移転整備工事を完了し、名称も新たに「西勧修寺消防出張所」として、1月27日から運用を開始しました。

この出張所には救助隊と救急隊の計2隊が配置されているほか、敷地内に消火・救助訓練を実施できる施設を備えるなど、充実した設備が整えられています。

住所 伏見区深草神明講谷町2番地の1

問合せ 山科消防署 (☎592-9755)



問合せ 区総務・防災担当 (☎592-3066)
(京都まちづくりアドバイザー佐藤友二)
継続の予定だそうです。
次の開催は3月18日(月)。平成31年度も
とができる。

第3回 もしばなカフェ

日時 3月18日(月)午後2時~4時
場所 区役所大会議室
費用 お茶代200円(お菓子付き)
申込み ☎583-5833(高齢サポート・山階)

安朱小学校とプライ小学校(マレーシア)が連携協定を締結しました

山科区の安朱小学校とマレーシアのジョホール州にあるプライ小学校が、相互に学習を進めていくための連携協定(ESDに関する教育及び文化交流協定)を12月20日に締結しました。

京都市とジョホール州は、ともに子ども達が地球温暖化問題について自ら考え体験する「こどもエコライフ・チャレンジ」に取り組んでおり、平成30年度から両校でテレビ会議を通じた児童交流を行っています。

当日は、プライ小学校の一一行21名が安朱小学校を訪問しました。

協定の締結式では、プライ小学校のヨン校長と安朱小学校の加村校長が挨拶し、その後、プライ小学校・安朱小学校両校の児童代表が「エコライフ・チャレンジを通して、環境保全活動を続けたい」「二つの学校が手を取り合うことで未来が明るくなる」と流暢な英語でスピーチすると、会場から感嘆の声があがりました。

締結式終了後、山科疏水や毘沙門堂を安朱小学校の子どもたちが案内し、給食とともに交流を図りました。



地域団体とNPO法人の連携促進事業 「山科中央公園活用・拠点化プロジェクト」 寄附を募集中!

京都市と京都地域創造基金では、地域団体とNPO法人が連携し、地域の課題解決に取り組む事業について、市民の皆様から寄附を募り、集まった寄附額と同額を助成する(上限25万円)取組を実施しています。

この度、下記事業に対する寄附金を募集します。申込み方法等、詳しくはホームページをご覧ください。

京都地域創造基金 検索

事業名 山科中央公園活用・拠点化プロジェクト

団体名 【地域団体】山科中央公園愛護協力会 【NPO法人】山科醍醐こどものひろば

事業概要 山科中央公園は、山科区の中心地にある地域最大の公園ですが、区外の方や子育て世代が活用しやすい空間が少ないことが課題とされています。

そこで、公園や周辺団地の集会所など公共空間を活用して、地域交流の場づくりを行います。また、より利用しやすい公園となるよう環境整備にも取り組みます。

寄附金はワークショップ等の開催、公園清掃・環境整備に取り組む方々の備品購入等に活用します。

寄附金募集額 25万円

問合せ 地域自治推進室 市民活動支援担当 (☎222-4072)



今を大切に生きるきっかけに
「もしばなカフェ」

誰にでも訪れる人生の最期。その時ことを想像したことはありますか? 例えば病院で死ぬのか、自宅で死ぬのかというのも一例。もし自分が望む状況でなかつたら?

もしばなカフェは、「もしも…」について元気なうちから考え方話し合うことで、今をより大切に生きることを目指しています。主催する高齢サポート・山階の山田さん、森下さんにお話を伺いました。

「人生の最期の場面では意思表示ができないこともあります。普段家族の中での「死」について話すことは少なく、情報や知識不足から選択肢を知らないまま最期を迎ってしまう現状が多いです。そこで、死について考えたり、「もしも食べづらくなったら」「もしも余命宣告をされたら」などのテーマで話し合ったりして自分が何を大切に考えているかという価値観に気づくことを目的にカフェを始めたとのこと。11月の開催では22人が参加し、臨床宗教師による死生観の話を聞き、自分の価値観について考えました。

「参加者からは十分しゃべることができたという感想をいただき手ごたえを感じています。もしばなカードを使うことで、価値観のような深いテーマでも考えやすくなるので好評です。」とのこと。もしばなカードとは、人生の最期にどうありたいか、自分自身の価値観やあり方について考え、語り合うきっかけになるものです。

「開催に先立ち開催した映画上映会は大好評で、このテーマへの関心の高さを感じます。もしばなカードがきっかけになり、夫婦で、家族で望む生き方にについて話すことができれば。」

次回の開催は3月18日(月)。平成31年度も継続の予定だそうです。

第60回
連載
区民活動動きずなりレー
みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう!